

(7) 松本地域 ~Made in 信州まつもと~ つながる食と農-美しいふるさとへ

重点戦略 1 : ペストミックスによる持続的な農業生産体制の構築

達成指標	H22 基準年	H29		H29 目標年
		計画	実績	
40 歳未満の新規就農者数 (単年度)	30 人	40 人	24 人	40 人
農地利用集積率	40%	56%	49.5%	56%
集落営農組織数	52 組織	62 組織	(集計中)組織	60 組織

<施策の取組状況>

- **多様な就農希望者の円滑な就農を図るため、松本地区新規就農促進連絡会（以下「連絡会」という。）を核に関係機関・団体の支援策を効果的に活用した支援の実施**
 - 農業次世代人材投資事業(開始型)の受給者 9 人を対象として課題解決支援活動を実施しました。
 - 関係機関・団体に農地、施設、住居等の情報を共有するため連絡会を 2 回開催するとともに、里親及び研修生の研修会を各 1 回開催し就農希望者の円滑な就農を支援しました。
 - 里親研修中に里親農家及び研修生を随時巡回し、経営計画の実現を支援しました。
- **担い手経営体への農地利用集積を進めるため、人・農地プラン作成・実行への支援とともに水田の区画整理を実施**
 - 現在策定されている 42 の人・農地プランについて、地域の合意形成により、集落や区域の方向性が示されたプランとなるよう市村・JA等の取組みを支援しました。
 - 県営ほ場整備事業により安曇野市烏川地域 24ha の水田区画整理を実施しました。
- **農地中間管理事業等の活用により担い手への農地の利用集積・集約化の支援**
 - 人・農地プランを範囲とした重点推進地区 8 か所を中心に関係機関・団体と連携して農地の利用集積を支援しました。
- **担い手経営体、高齢農業者、地域住民等のそれぞれの持ち味を活かした営農の仕組み作りを進めるため、地域農業リーダーを育成するとともに農用地利用改善団体等の活動を支援**
 - 認定農業者の育成や 1 つの集落営農の組織化及び農業経営の 7 組織の法人化推進や、地域営農の仕組み作りを支援しました。
- **農産加工施設の安定経営を目指す女性農業者の活動を支援**
 - 農産加工に取り組む女性農業者 1 組織の法人化の検討及び経営の在り方について指導、助言しました。



【里親研修生集合研修】

<今後の展開方向>

- 新規就農者の確保や栽培技術・経営能力向上のため、里親研修生の巡回指導や、新規就農者に対する栽培技術向上セミナー等を開催します。
- 中核的経営体の育成のため、農業経営の安定と発展に必要な複式簿記講座の実施や、信州 MBA 研修への誘導を行います。
- 集落営農等の法人化や経営力強化のため、経営シミュレーションを活用した集落営農組織への園芸品目の導入検討を行います。

重点戦略 2 : おいしい農畜産物の産地づくり

達成指標	H22 基準年	H29		H29 目標年
		計画	実績	
果樹・野菜品評会上位入賞者数 (単年度)	3 人	4 人	4 人	4 人
畑地かんがい施設の更新面積	1,031ha	1,260ha	1,892ha	1,260ha
遊休農地解消面積 (単年度)	97ha	50ha	32ha	50ha
六次産業化法に基づく総合化事業計画の認定数	0 件	16 件	18 件	16 件

＜施策の取組状況＞

- 「おいしい信州ふード（風土）」の高品質化を図るため、技術講習会を開催するとともに原産地呼称管理制度への取組を支援
 - 3億円の夏秋いちご産地づくりのための技術改善、経営向上並びに新規参入する担い手5名への支援を実施しました。
 - 果樹、野菜などの主要品目を中心に所得向上を図るため、栽培技術講習会を66回（野菜46、果樹20）開催しました。
- 低コスト化・省力化を進めるため、りんご新しい化栽培や省力機械・施設の導入を支援
 - 産地パワーアップ事業等を活用して、収益力強化を図るため6か所で施設整備や農業機械等の導入を支援しました。
 - 果樹経営支援対策事業等を活用し、りんご22ha、ぶどう2haの優良品種及び新しい化栽培への改植等を推進しました。
 - 「リンゴ長果25（シナノリップ）」への品種更新を2haで推進しました。
- 高品質野菜の生産を図るため、レタス根腐病等の連作障害対策を支援
 - レタス根腐病の発生状況を把握し、速やかな対策を講じるために現地調査を3回実施しました。
- 農産物の高品質化、生産の効率化を図るため、畑地かんがい施設や用排水路など農業生産基盤の計画的な維持・更新を推進
 - 県営畑地帯総合土地改良事業、県営かんがい排水事業等により、受益面積632haの老朽化した農業用施設の更新整備を実施しました。
- 「おいしい信州ふード（風土）」などの導入を図るため、遊休農地の活用を支援
 - 2市、7件で荒廃農地等利活用推進交付金等の活用により、262aの耕作放棄地の再生を進めるとともに、そばやワイン用ぶどうの生産拡大を支援しました。
- 6次産業化を進めるため、農業者と地域の食品産業等他産業との情報交換の場を設置し連携活動を支援
 - 6次産業化を進めるため、農業者と地域の食品産業等他産業との情報交換の場を設置し連携活動を支援しました。
 - 6次産業化を志向する農業者等の総合化事業計画の策定及び実現に向けて相談会を1回開催するとともに、5件の認定期間終了者に対するフォローアップ支援をしました。



【更新した畑かん施設】

＜今後の展開方向＞

- りんごの高密植栽培・新しい化栽培の拡大と県育成品種の生産拡大のため、モデルほ場の設置による調査や検討会等を開催します。
- 消費者ニーズの高いぶどう品種の導入やワイン専用品種の品質向上のために、裂果発生調査を実施するとともに、ワイン大学の開催を支援します。
- 6次産業化ビジネスの取組を支援するために、マーケティングセミナーや相談会を実施します。

重点戦略3：環境に配慮した農業、安全・安心な農業の推進

達成指標	H22 基準年	H29		H29 目標年
		計画	実績	
信州の環境にやさしい農産物認証取組面積	399ha	560ha	247ha	560ha
環境保全型農業直接支援対策対象面積	0ha	100ha	50ha	100ha
GAP取組団体数割合	20%	48%	42%	48%

＜施策の取組状況＞

- 地域全体で環境負荷の軽減を図るため、信州の環境にやさしい農産物認証、環境保全型農業直接支援対策及びエコファーマーへの取組を支援
 - 信州の環境にやさしい農産物認証の取得やエコファーマーの再認定を推進するため、要請のあった直売所等を中心に集団取得を支援しました。
 - 信州の環境にやさしい農産物認証への取組を拡大するため、農家が取組める技術の実証ほ場を1箇所設置し、報告会を1回開催しました。
- 衛生管理を始めとしたリスク管理を推進するため、より高いレベルのGAPへの取組を支援
 - 農業生産現場において持続的な農業生産や農産物の安全確保のため、2団体に対してGAPの取得を目指す取組を支援しました。
- 安全・安心な畜産物の提供を図るため、家畜防疫体制を強化
 - 家畜の飼養衛生管理及び口蹄疫・高病原性鳥インフルエンザ等家畜伝染病の発生予防とまん延防止対策のため、153戸の農場を巡回するとともに、対策本部会議・実地訓練等の防疫演習を1回開催しました。



【防疫演習】

○ **健康な土づくりを進めるため、耕畜連携を推進**

- 良質堆肥の流通を推進するため、広域堆肥センターに対し巡回相談会を2回開催しました。
- 耕畜連携を進めるため、耕種農家向けに土づくりの講習会を5回開催しました。

＜今後の展開方向＞

- 信州の環境にやさしい農産物認証や、エコファーマー認定等を推進するため、直売所等を中心に説明会を開催するとともに、実証ほを活用した研修会等を実施します。
- 農業生産現場における効率的で持続的な農業生産や農産物の安全確保のため、GAPの取組みを目指す団体等の取組みを支援するほか、トヨタカイゼン方式による生産工程の課題解決を支援します。

重点戦略4：「おいしい信州ふード（風土）」等の共有・発信

達成指標	H22 基準年	H29		H29 目標年
		計画	実績	
協議会によるPR活動数（単年度）	0回	2回	7回	2回
サイン利用農業経営体数	0経営体	600経営体	152経営体	600経営体
「信州まつもと」産農畜産物新規取引件数	0件	5件	4件	5件

＜施策の取組状況＞

- **地域一体となった農畜産物の情報発信を進めるため、関係機関・団体等で構成される「おいしい信州ふード（風土）」松本地域活動協議会（以下「協議会」という。）の設置、「Made in 信州まつもと」のサインの制定等によるPR活動を実施**
 - 生産者と加工業者や販売事業者の連携を誘導し、地消地産に向けた新たな流通・マーケットの創造のため交流会を1回開催しました。
 - おいしい信州ふード商品等の認知度向上のためのフェアを2回開催しました。
- **消費者に環境農業をよく理解してもらうため、県ホームページ等の活用により環境農業に係る情報を発信**
 - 信州の環境にやさしい農産物認証やエコファーマー及び環境保全型農業直接支払制度の認知度向上のため、松本管内の取組事例等をホームページやブログで6回紹介しました。
- **多様な消費者ニーズに対応した生産、販売を進めるため、マーケティング手法習得研修会等の開催**
 - 経済動向や消費者、実需者のニーズを的確に把握し、生産に結び付けられるよう研修会を1回開催しました。
- **「信州まつもと」産農畜産物の活用を進めるため、観光業、商工業等他産業との情報交換の場の設置を支援**
 - 商工業者との情報交換を図るため商談会等を3回開催し、マッチングの機会を設けたほか、情報提供を行いました。
- **ワインの販売促進による産地活性化を図るため、信州ワインバレー構想と連携した情報の発信**
 - 信州ワインバレー構想に向けて関係機関と連携し、新規栽培者の技術・経営支援を2地区で実施しました。
 - NAGANO WINE 栽培情報プラットホーム構築事業で設定された情報共有の場への参加を20名に誘導しました。



【おいしい信州ふードのPR】

＜今後の展開方向＞

- 「おいしい信州ふード」の取組などによる農産物の魅力向上のため、「おいしい信州ふード week」を実施します。
- 消費者に環境農業を理解してもらうため、ホームページやブログ等を活用してPR活動を実施します。

重点戦略5：食育・地産地消の推進

達成指標	H22 基準年	H29		H29 目標年
		計画	実績	
学校給食における県産農畜産物利用率	41%	51%	51%	50%
食育ボランティア数	1,549人	1,700人	1,558人	1,700人
食と農のセミナー実施団体数	27団体	28団体	28団体	28団体

<施策の取組状況>

- **学校、保育所等における食育及び農業体験を推進**
 - 食や農に関する意識向上のため、農村女性ネットワーク会員や農村生活マイスター等により、小学生が収穫した大豆を使った豆腐作り体験の実施を10回支援しました。
- **子どもから大人まで幅広く地域における食育を更に推進するため、食育ボランティア活動等を支援**
 - 農村生活マイスター、農村女性ネットワーク会員等による農産加工体験・料理講習会を12回開催し支援しました。
- **食文化の継承を図るため、食と農のセミナー実施団体の活動を支援**
 - 消費者が食や農に関する理解を深めるためのセミナーを4回開催しました。
- **地産地消を進めるため、農産物直売所、地元市場等と連携し、消費者、農業者が本来の食と農の姿について共有できる場の設置を支援**
 - 農産物直売所等の売り上げ向上のために栽培技術講習会等を4回開催しました。



【豆腐作り体験】

<今後の展開方向>

- 宿泊業や飲食業での地域食材の利用拡大のため、旅館業者や飲食業者を訪問し、利用促進を行います。
- 学校給食への地域食材の活用促進のために栄養士等との情報交換を行うほか、直売所等からの食材提供の推進を図ります。
- 農産物直売所の魅力向上のため、栽培技術向上や新品目提案のための講習会を開催します。

重点戦略6：農村機能の維持・中山間地域の活性化

達成指標	H22	H29		H29
	基準年	計画	実績	目標年
中山間地域における施設園芸への取組数	8件	15件	21件	15件
多面的機能支払事業取組面積	1,491ha	9,850ha	9,749ha	9,850ha
都市農村交流人口	53,896人	61,000人	50,416人	61,000人

<施策の取組状況>

- **中山間地域における安定した農業経営の定着を図るため、施設園芸や匠の技による農業への取組を支援**
 - 気候、立地条件に適したアスパラガスなど導入作物の選定及び施設整備の支援並びに栽培技術の指導を21回行いました。
 - 中山間地の特色を活かした農村活性化施設の整備などを、中山間地農業ルネッサンス事業を通じて12か所支援しました。
- **農業・農村の多面的機能を維持するための、多面的機能支払事業の活用による継続的な農業生産活動を支援**
 - 多面的機能支払交付金により、農業者が共同して取組む地域活動や、地域資源（農地・水路・農道等）の質的向上に資する活動9,749haを支援しました。
- **中山間地域等農業直接支払事業を活用して中山間地域のもつ多面的機能維持活動を支援**
 - 116集落での農用地の維持管理のため農業生産活動等の取組みに対し、交付金の交付を通じて市村と連携して支援しました。
- **野生鳥獣被害対策チームによる野生鳥獣対策を支援**
 - 野生鳥獣による農作物への被害防止のため、国庫補助金を活用して侵入防止柵の設置支援を3地区で実施しました。
 - 地域で課題となっているニホンザル対策現地指導会を1回、電気柵設置講習会を2回開催しました。
- **再生可能エネルギーの導入を促進するため、小水力発電など農業水利施設等の活用を支援**
 - 地域用水環境整備事業を活用し、小水力発電施設の整備2地区を支援しました。
- **都市農村交流人口増を図るため、里山、田園等を活用したグリーン・ツーリズムを推進し、都市住民に向けて情報を発信**
 - 里山と農村が連携したグリーン・ツーリズムの推進を図るため、会議等で農家民宿等の開設に係る情報を提供しました。



【電気柵設置講習会】

<今後の展開方向>

- 農業・農村の多面的機能を維持するため、多面的機能支払事業の活用により、農業者が共同して取組む地域活動や地域資源（農地・水路・農道等）の質的向上に資する活動を支援します。
- 中山間地農業を支える多様な担い手の確保や運営支援のため、集落営農組織の法人化等の支援を行います。
- 野生鳥獣の農作物被害の防止を図るため、侵入防止柵の設置等を引き続き支援します。